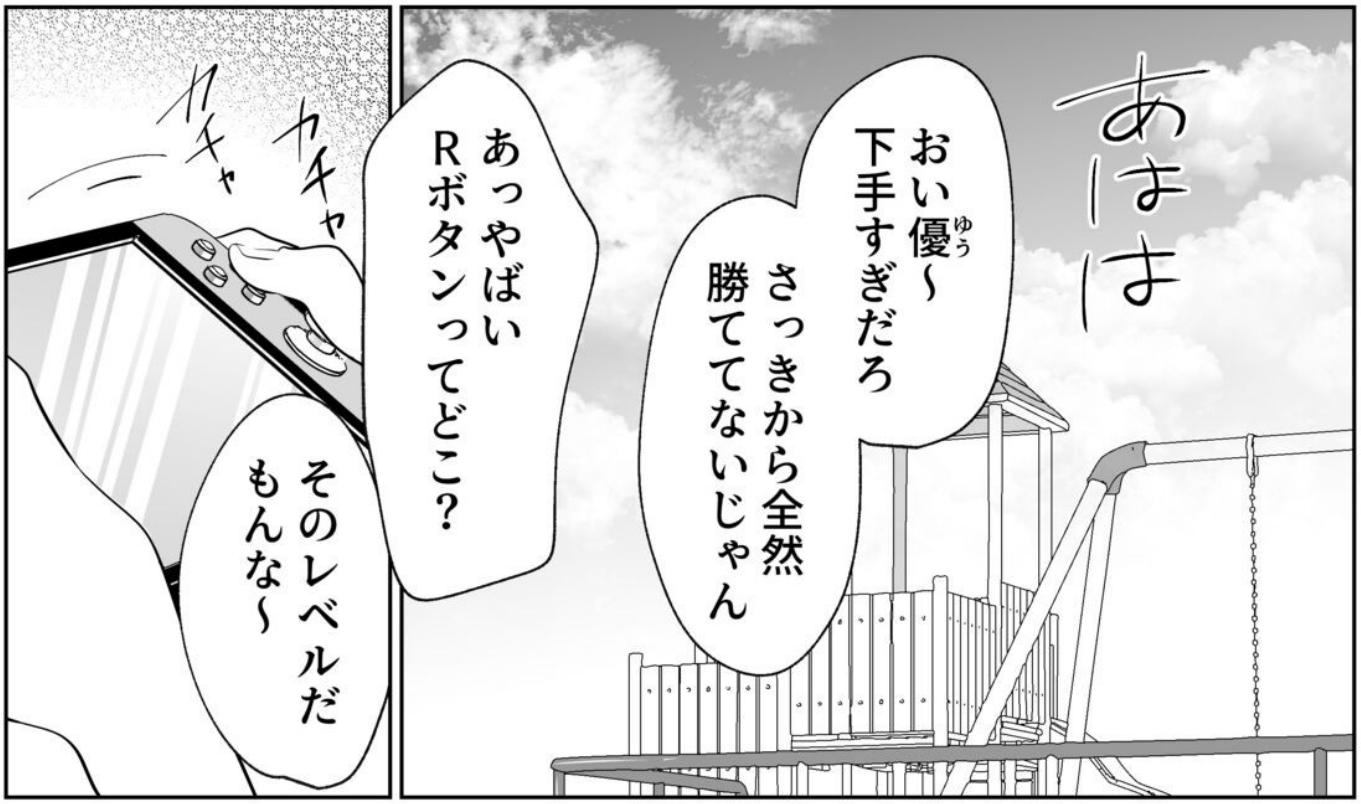
少年の放課後 2

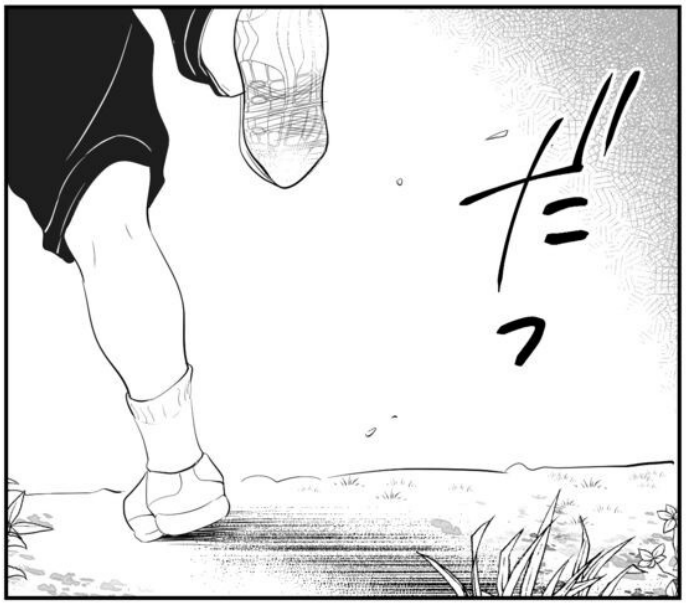
白いお布団


あはは
おい優(ゆう)～
下手すぎだろ
さっきから全然
勝ててないじゃん
カチャ
カチャ
あっやばい
Rボタンってどこ？
そのレベルだ
もんな～

ゲーム自体
慣れてないんだって
言ったじゃん
しつこいなぁ
お手伝い
しまくれば？
そういう
問題じゃないの
だからあんなに
こっち見てたのか
ずっと
睨んでんのかと
思ってた
えっごめん
だよな～

あ
時間かも

優も買って
もらったら
持ってこいよな
すぐに
追いつくもん
ずっと俺が
勝つけど
またな！


ダッ

うん！

ガチャ

はぁっ
はぁっ
よし・・・
はぁっ

はぁっ
はぁっ
間に合っ・・・
ゲホッ
ゲホッ

はぁっ
はっ
ガチャ
優ー
ただいまー
あ
帰ってるわ
言っとくけど
今日も私
バイトだよ
大丈夫
ちょっと
寄るだけだし
麻里にあげる
アイスないからね
え？
え、じゃ
なくてさ
優くんハロー
お邪魔すんね！

『麻里』さん
…ん
あはは
自分勝手で厚かましい人
ねーちゃんの友達
2ヶ月前のあの日
嘘でしょうっそ
バカじゃないのガチで…！

あの日から
静かにしないと
ねーちゃんに言うぞ！
麻里さんは
僕を避けてる
気がする

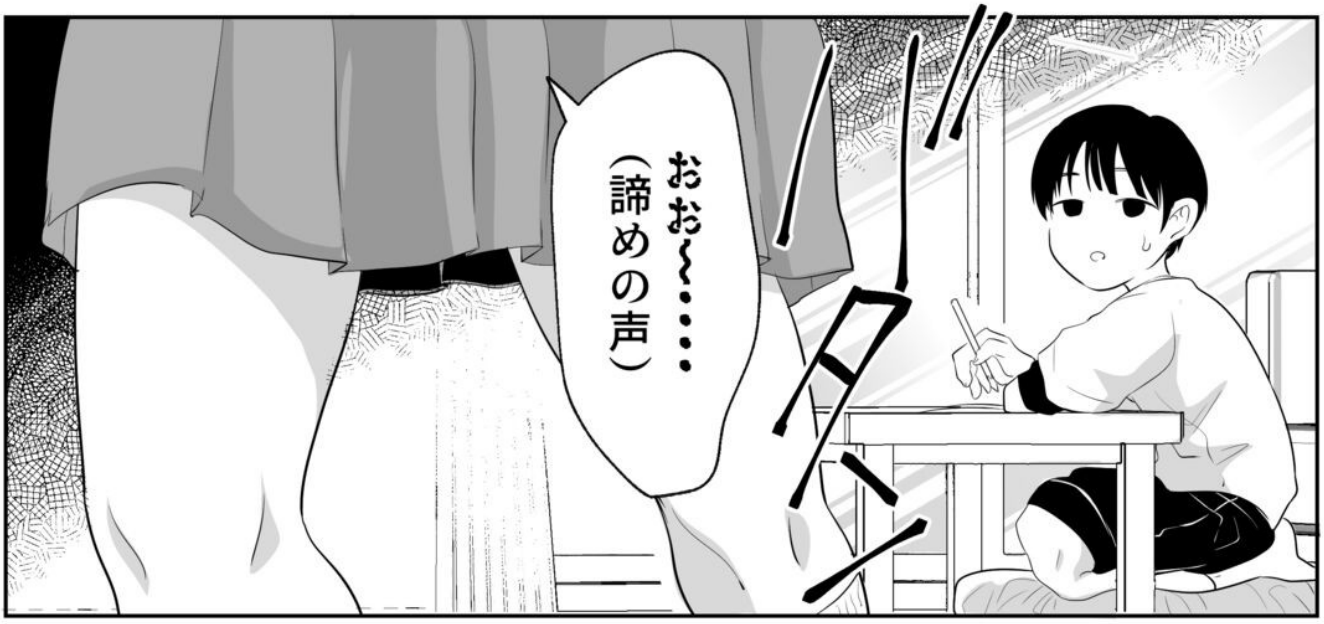
家に来てもすぐ帰る
ウザいくらいに
話しかけてきてたのに
宿題もジャマ
されなくなった

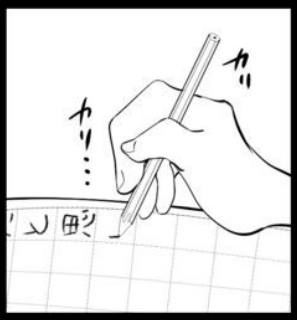
良かった

……
よかった
えっ

ウッソ出たの？
今日発売？
めっっちゃ
待ってたわ
はーっ
はーっ
はーっ
麻里待望の
少女漫画
やばっ
過呼吸
なりそう
うるさ

読んでいいよ
あーまじ？
おー、
持って帰っていい？
だめ
ぱっ
え
麻里すぐ開いて
置くじゃん
ページも折れてるし
無事に帰ってきた事
一度もないし
反省はしてる
反省はしてるの
だーめ
ここで読んで
帰ってください



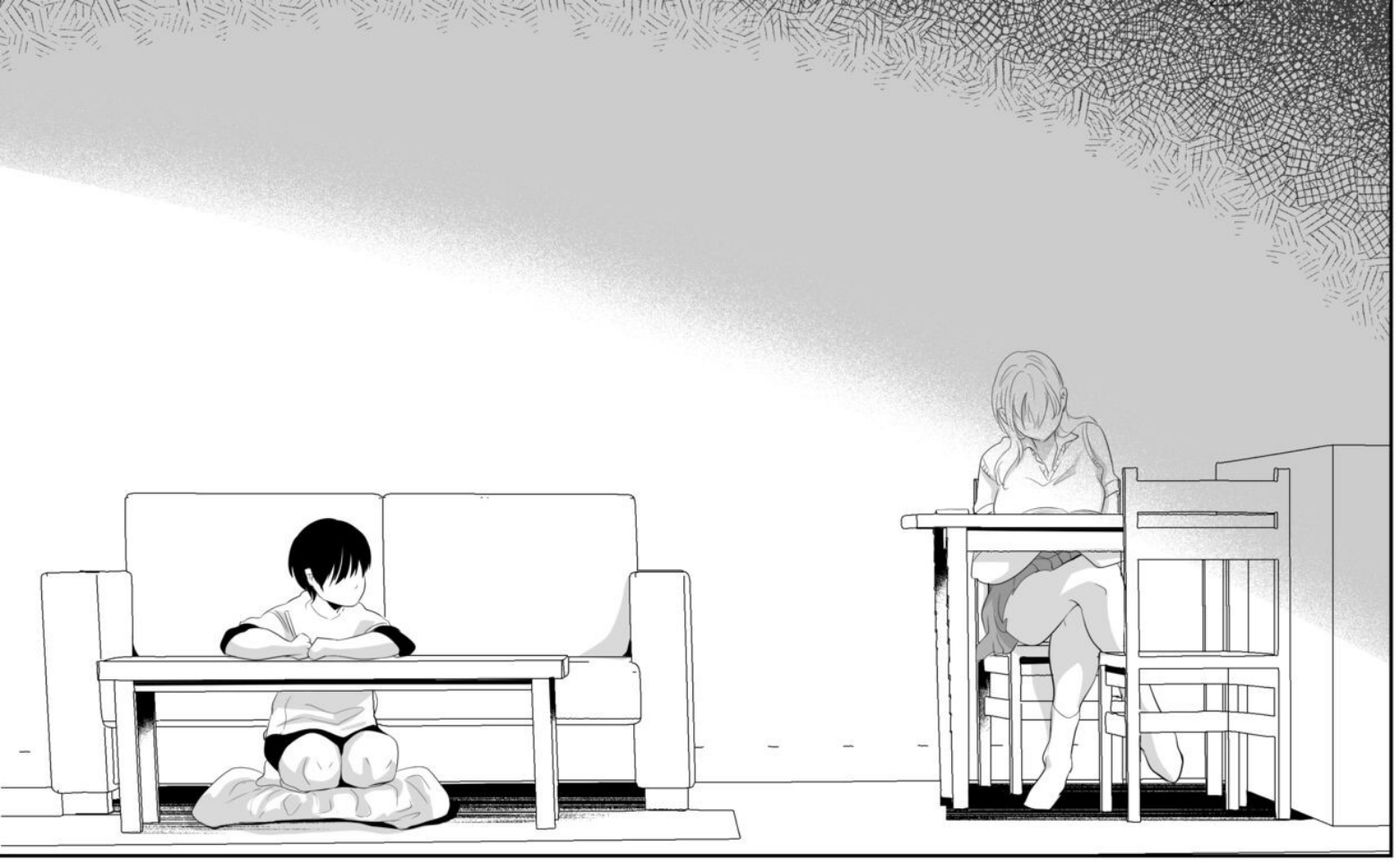


こうなったのは

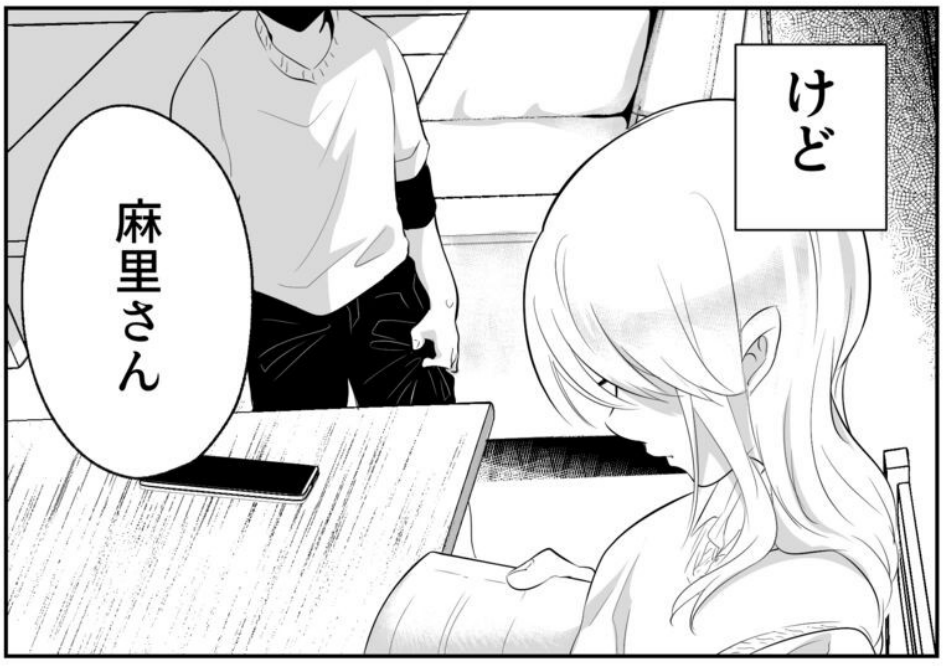
僕のせい

僕のせい

……
僕が変なこと
しちゃった
から



……わかってる


けど
麻里さん

カサ

バニラあげる

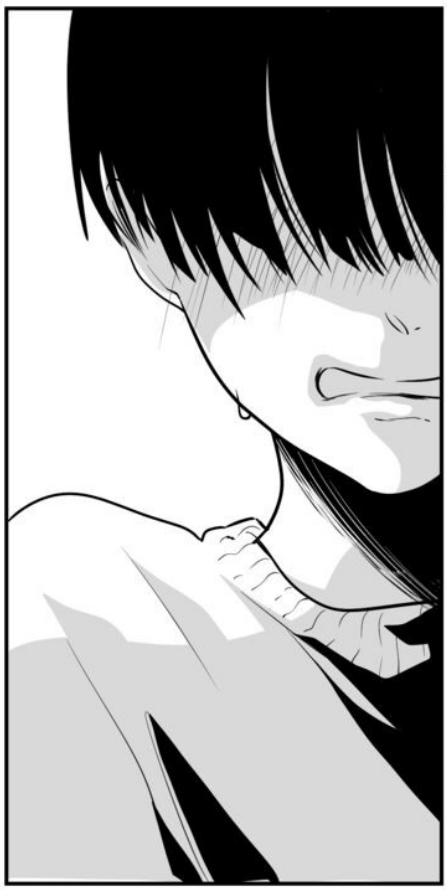
あ

・・・え
あんの？
無いって
言われたけど
ねーちゃんが僕の分だけ
取っといてくれただけ
あれは

麻里さん
いつも勝手に
全部食べるから
ごめん
ひとんちの
冷蔵庫なのに
高校生にも
なって
ごめんて・・

だから
僕のあげる
あげる
から・・・
んー
汚れたらまた
言われるしなー
だいじょぶ
優くん食べな

ありがとねん
…あ
でもやっぱ



持って帰ってもいい？
えへっ♡
…いいけど
この人すぐ持って帰ろうとする

なんで？

・・えっ・・・・

・・・っと
ん
待て
ん!?
だって前
前一応
仲直りしたのに
え
わかん・ない？
仲直り？
っていうか　そういうアレ
じゃ無いじゃん

・・・・
・・・わかる

ホッ
・・・よなぁ!!

よしよし
エライ！
っう
う
わ
しゃ
しゃ
うっ・・・

まえ
前の

きもちよかった
バタン
よし帰る！
また・・・
え
本は持ってくからごめんって言っといて
「学校終わってソッコー机？
ボッ・・・
一匹狼」
「数学じゃん
あっここ
間違えてんよ」
何でそんなに
前と違うの
「一緒にアマプラ見る？
かわいそうに」
なんで
「かわいそう」
・・・・
仲間はずれ？

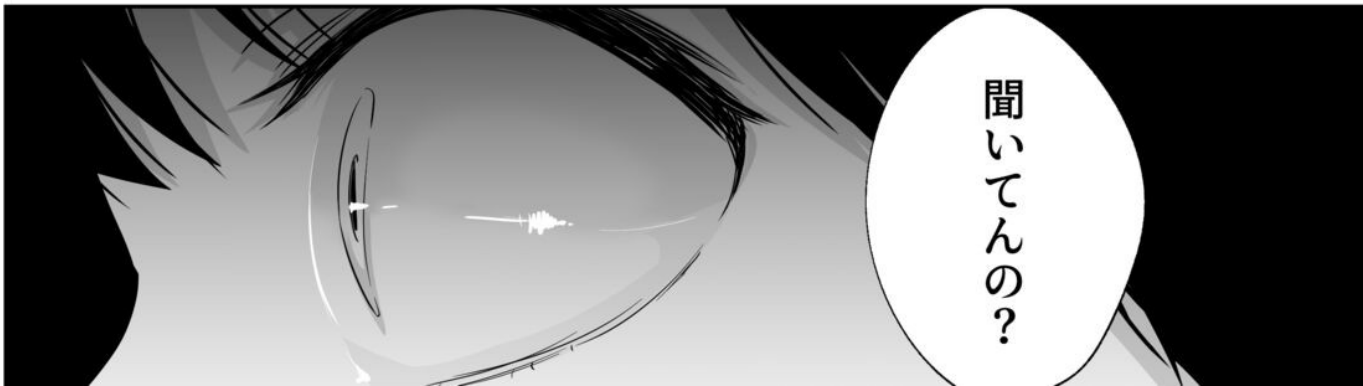
嘘
・・・
は？
僕友達
いないから
学校終わってから
話す相手
麻里さんしか
いなくて
僕
それも
なくなるの？
・・・そ
舐めたい
今日だけ

……
……
……
……
すぅー
……

やばいから

ぜったい人に
言うなよ
これガチのやつ
だから

なあ
パラ


聞いてんの？

舐める
だけ
…っ
わかった？
……
はい…
ゴク。。

こっち見ろよ
エロガキ
……あ
このニオイ
これだ

甘酸っぱくて
蒸れた
麻里さんの匂い
グッグ…
ぎゅ
ぐちょぐちょな
穴の

味も
ん…
はぁ
ヌチ…
チャリンチャリ～ン♪
はいはい
どしたー？
バイトね、
気をつけて
行きなさいよ
夜までだっけ

優は？
麻里ちゃん来てんのね？
はーいわかった
早めに帰るわー
はっ
はっ
はっ
はっ
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ

んっぅ
んぅ
ちゅ
ちゅる
ぢゅう…

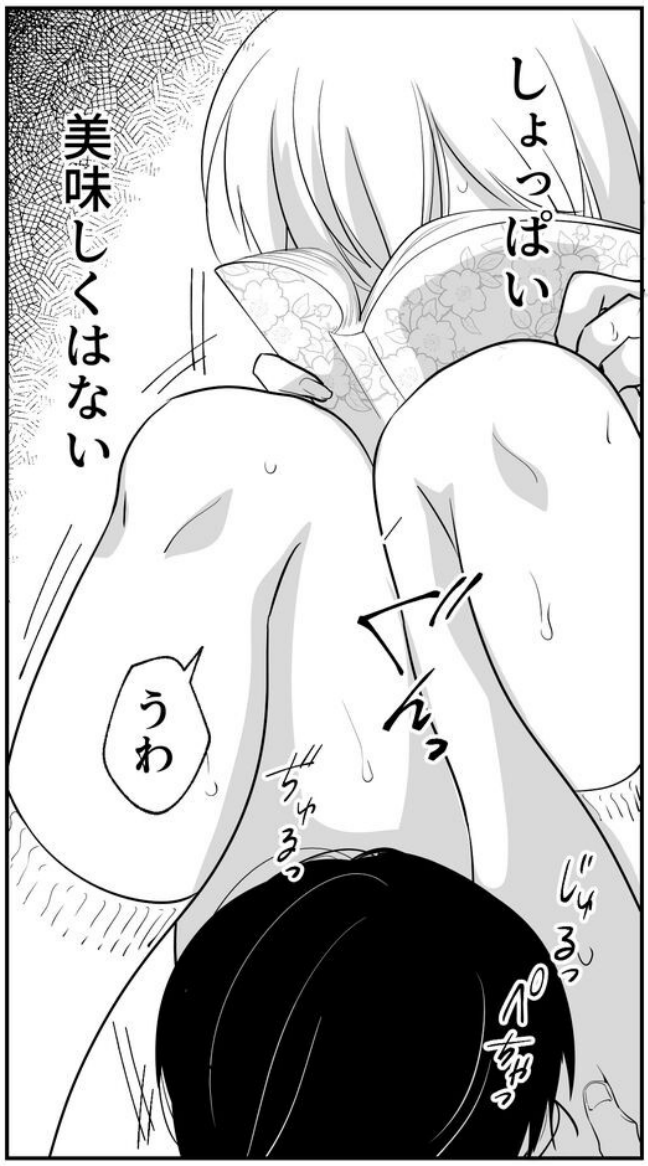
まりさ・・・
んっ

麻里さん・・・
ね・・・
やだ
黙ってよ

・・・もう
いいでしょ

てか
不味いでしょ
ねえ

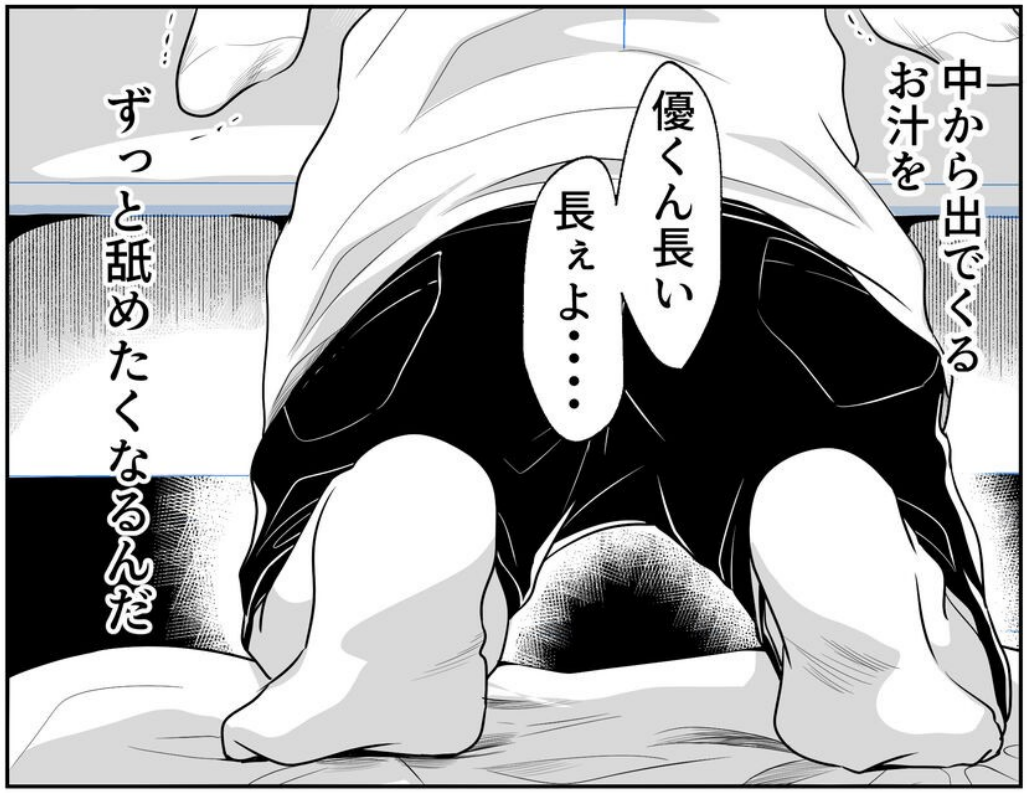
ねえって
ぐぐぐ…
はっ…
はっ…


しょっぱい
美味しくはない
うわ
じゅるっ
ちゅるっ
ぺちゃっ

でも
美味しい

うそっけ…
じゅるっ
ずっ
…わかんない
ちゅる

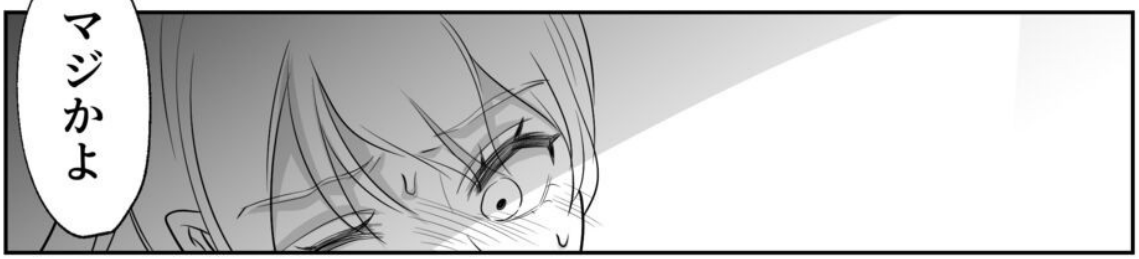
わかんないんだ
僕にも
おいし
美味しい
なのに
うるさ・・・
ん
う
ぺろっ
ぺろっ
ちゅぷっ
じゅるっ
じゅるっ
ちゅるっ


中から出てくる
お汁を
優くん長い
長ぇよ・・・
ずっと舐めたくなるんだ

じゅるるっ
ちゅる

にゅこ
にゅこ
にゅこ
にゅこ

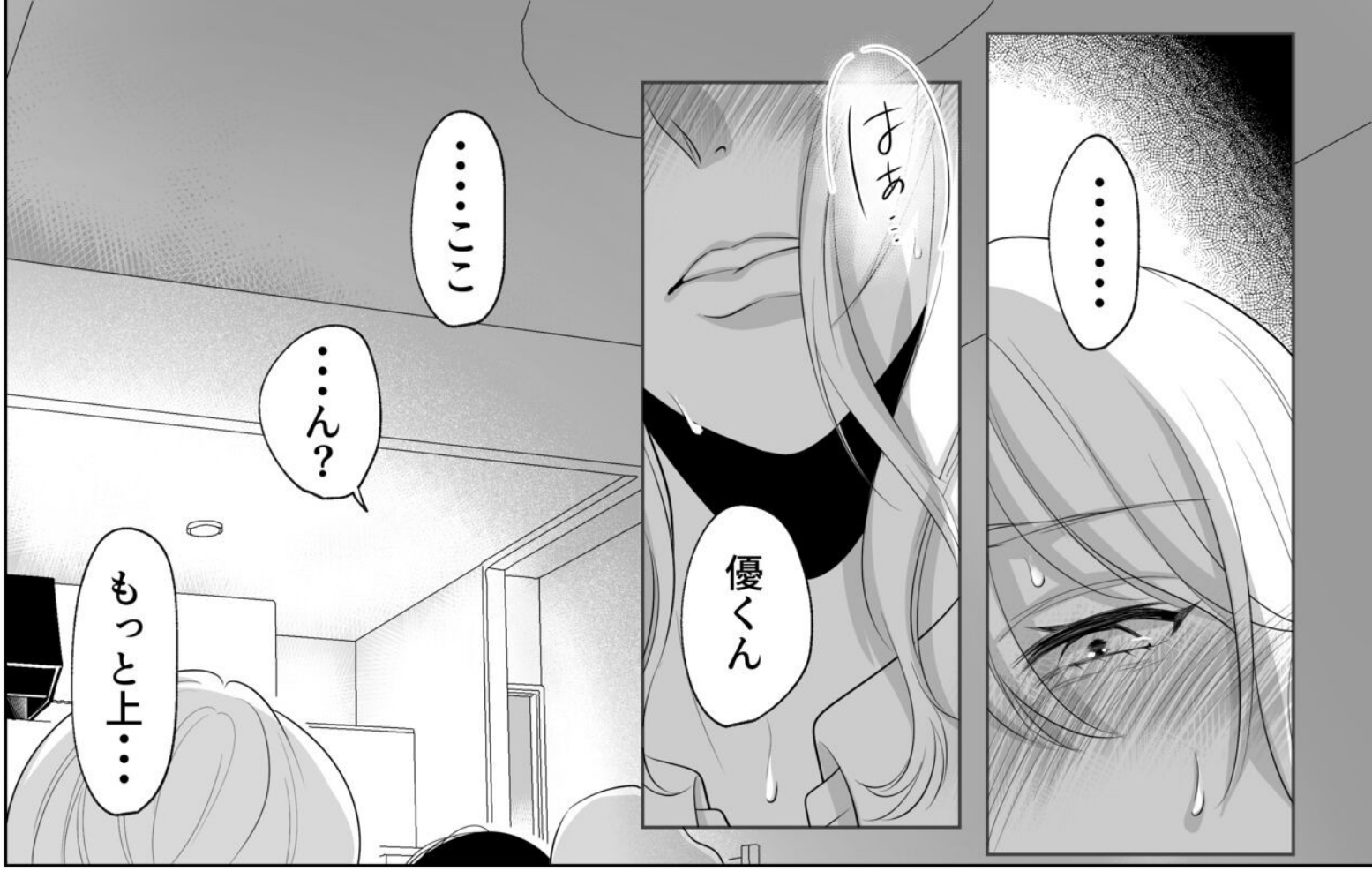
…っ
ちゅぷ
ちゅぷ
ちゅぷ
ごそ
んっ


マジかよ

シコんなよ・・・
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
ハァハァ
ハァハァ

んっ
はっ
はっ
はっ
ぺちゃっ
じゅるっ
じゅるるっ

・・・・
ちょー必死
これ
出すまで
舐める気・・・っ？

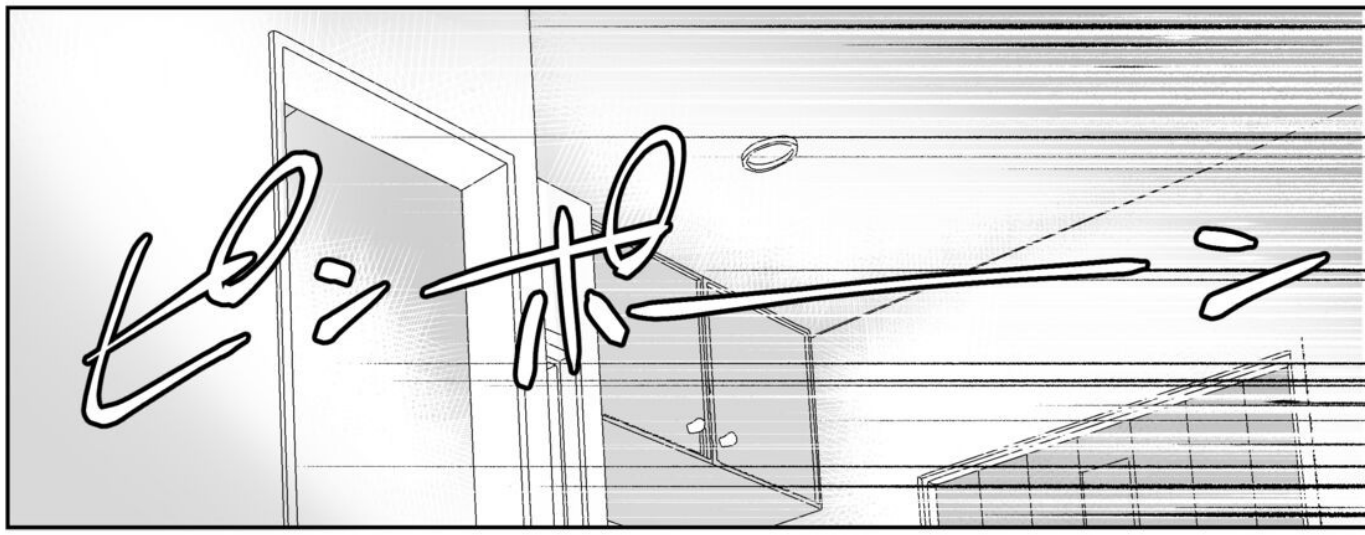

……
はぁ…
優くん
……ここ
…ん？
もっと上…

ふりっ

…ここ？

…？
この小さいの
ちょっとだけ…
…っ
穴じゃない方…

あッ
あ…
うわ


ピンポーン

やばい
ビッ
ビッ
ビッ
・・・母さんかも

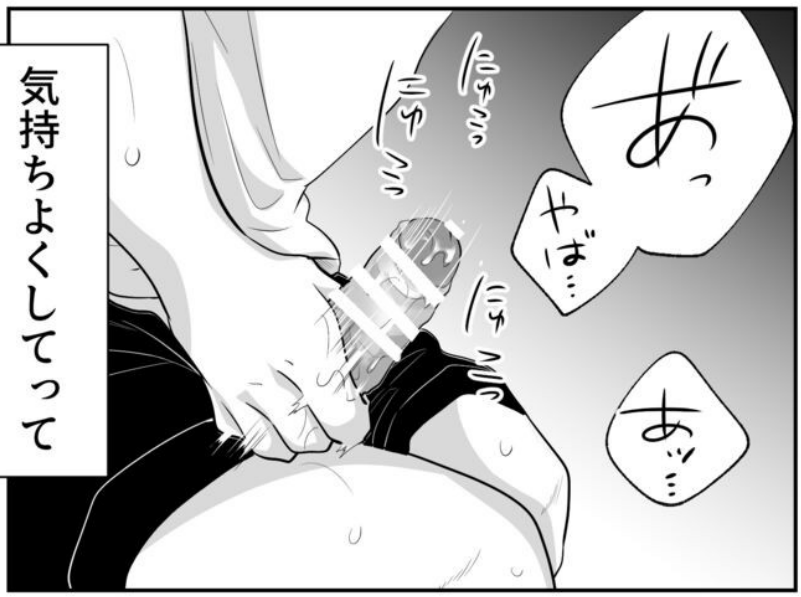
え

鍵は？
かけてるけど
買い物とか行った日はたまに開けてくれって言われる
・・・今日は知らない
けど

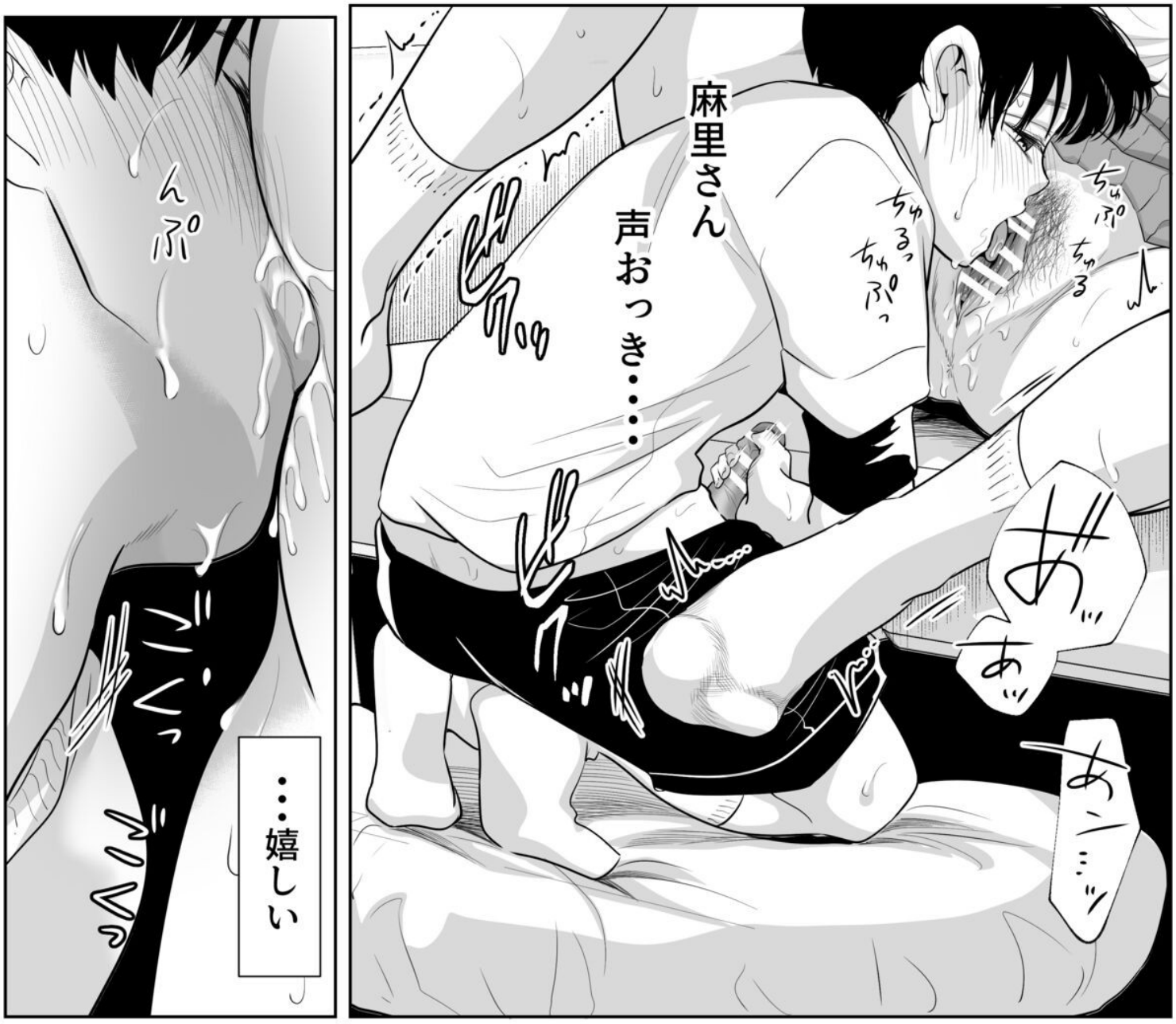
なんで今
はっ…
はっ…
ビクン
ビクンビクン
ドンドンッ!!
宅配便でーす
…
?

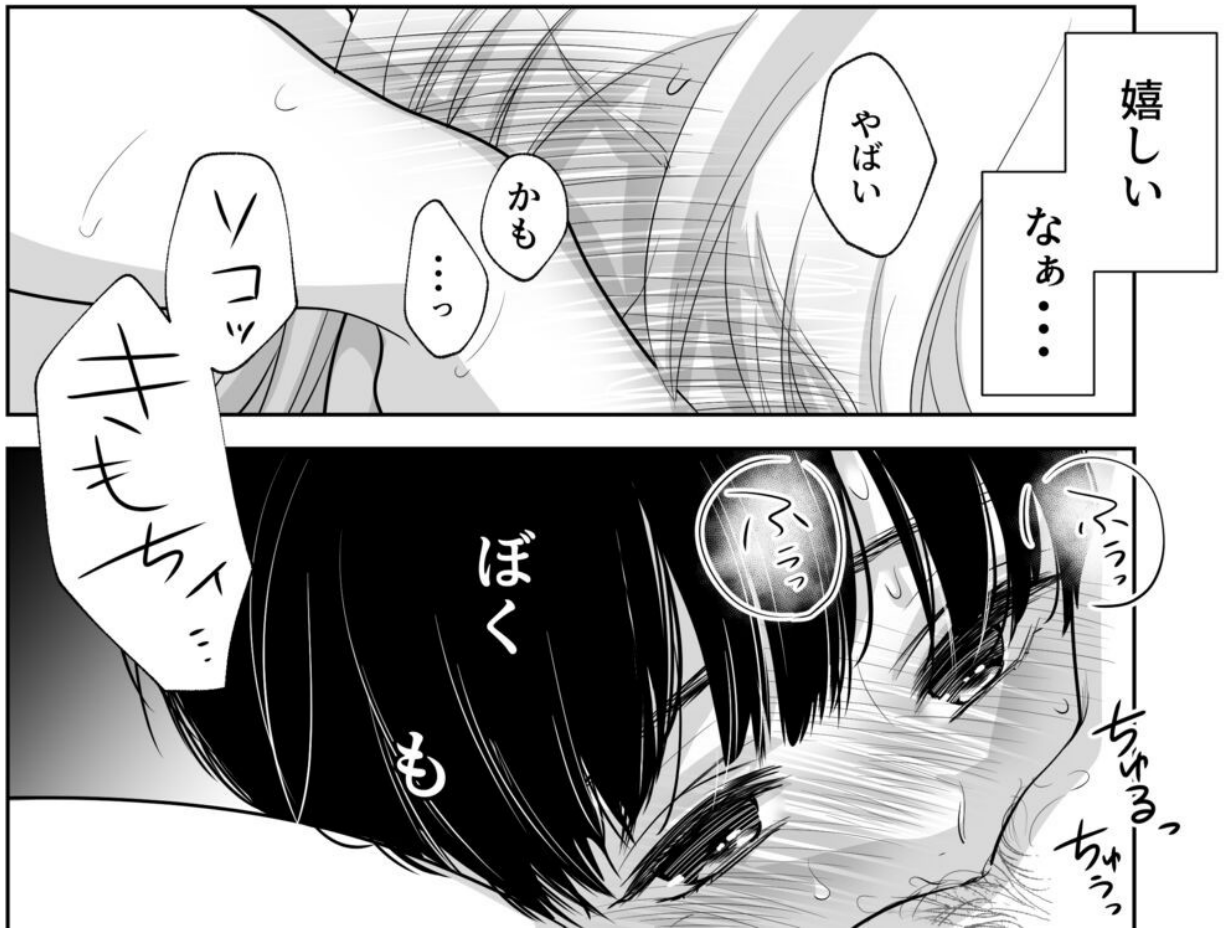
あぁッ
ビクッ
あぁ
ビクン
ちょっとくらい我慢し・・・・
んーっ
ビクッ
い
今だめ・・・・っ
優くん
クリは強くすんな・・・っ
ちゅるっ
聞けって
ちゅるっ
ちゅるっ
はっ
あっ
まって
ガタ
うわ
あッあッ・・・

やば
はぁっ
絶対聞かれたって
がっつき過ぎて怖いっつーの
ちょっ…
待てって
ほんっとまんこ好きだな
強いの…
強いから…っ

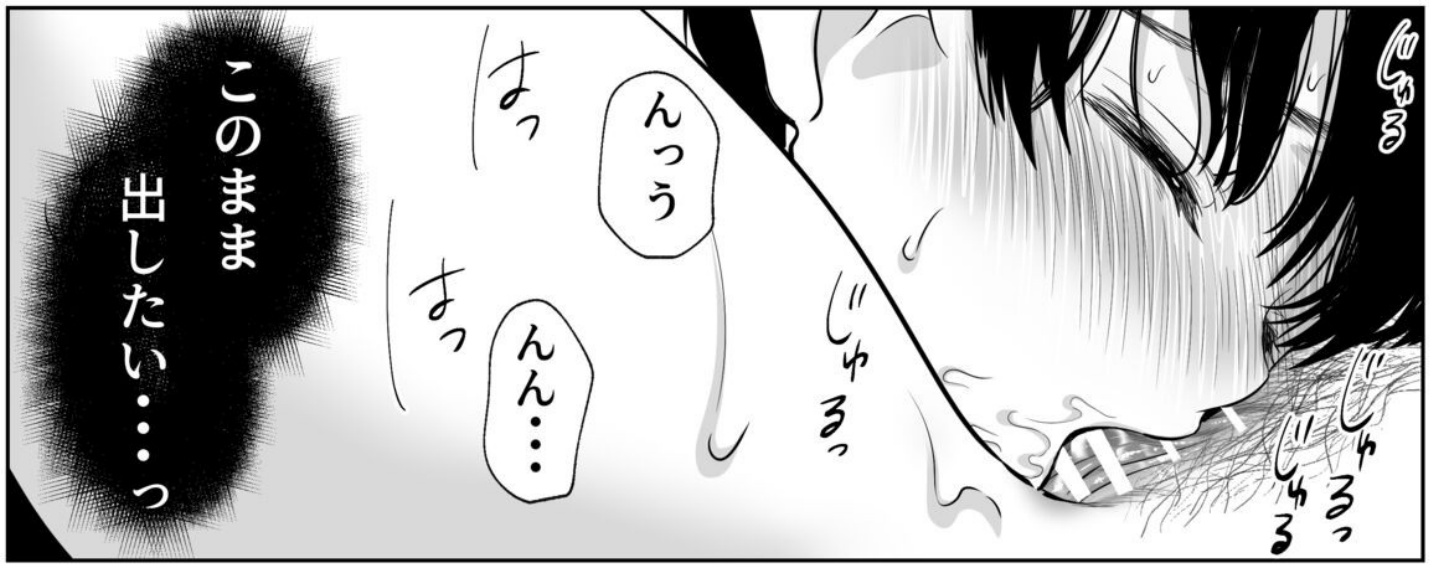


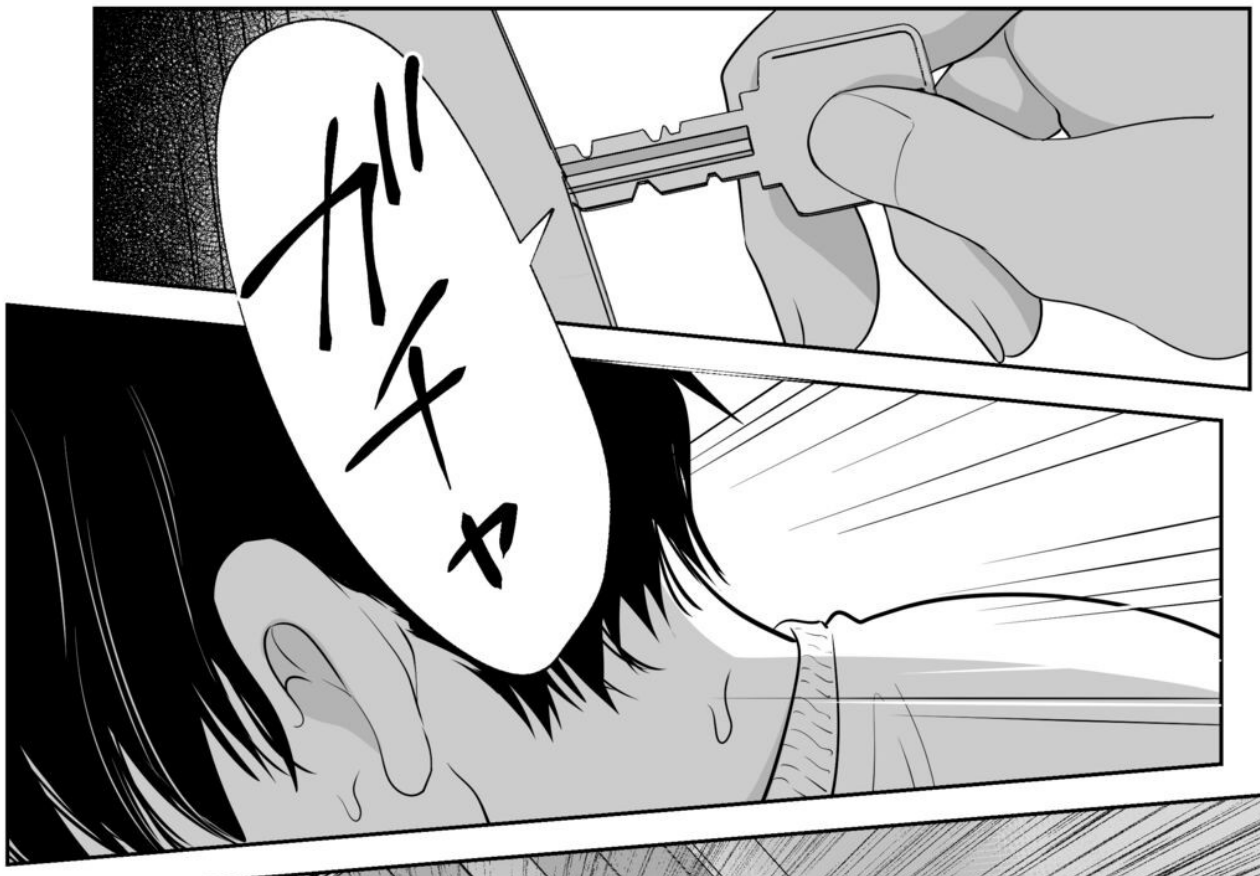
気持ちよくしてって
言った？


麻里さん
声おっき……
ちゅぱ
ちゅる
ちゅぱっ
あっ
あっ
あ…っ
んぷ
ごくっ
…嬉しい

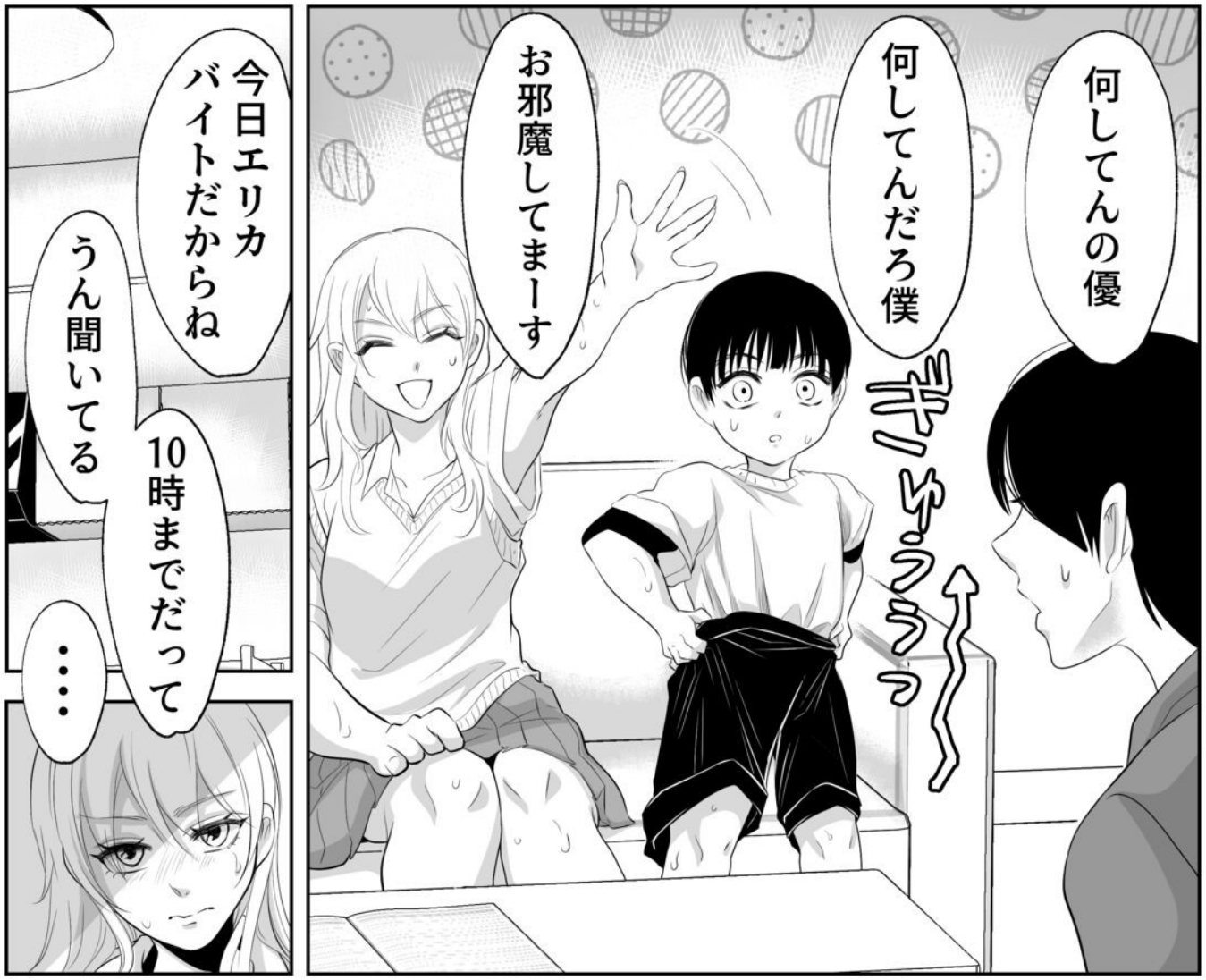

嬉しい
なぁ…
やばい
かも
…っ
ソコッ
キモチイ…
ぼく
も
ふぅっ
ふぅっ
ちゅるっ
ちゅうっ

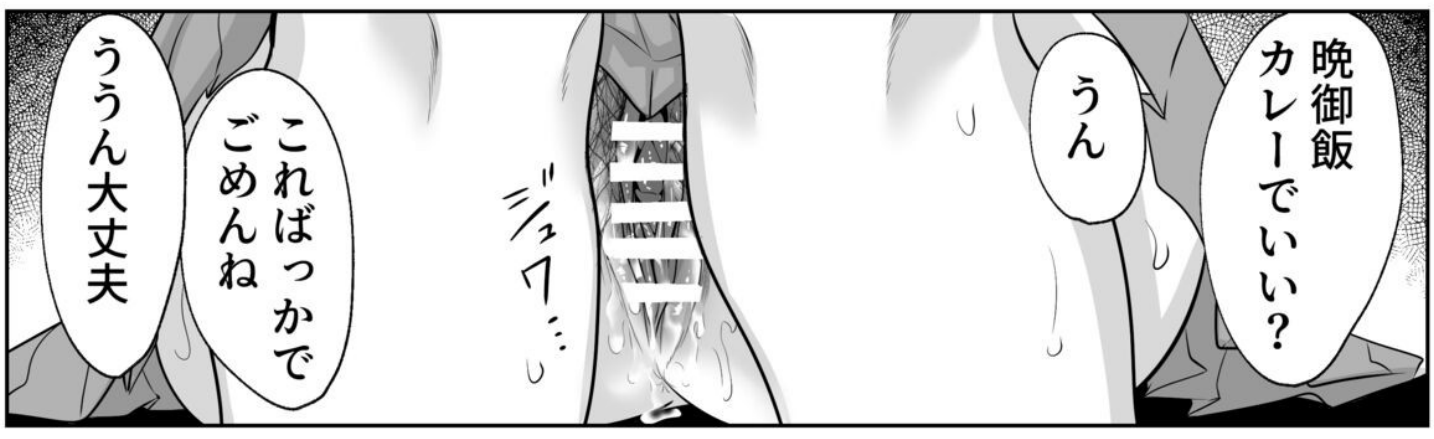
そんな声
出されたら
ちょ
また
ちゅぷ
ぢゅうっ
強いって
バカ
汁飲むんじゃ
なくて
きもち・・・
きもちよく
してって・・・
ちゅぷ
ちゅうっ
じゅっ
出したい
出したい
カツ


じゅる
んっう
はっ
んん・・・
はっ
じゅるっ
じゅるっ
じゅる
このまま
出したい・・・っ


ガチャ

ドサッ
麻里ちゃん
久しぶりー
優ただいま・・・


何してんの優
何してんだろ僕
お邪魔してまーす
ぎゅうう
今日エリカ
バイトだからね
うん聞いてる
10時までだって
・・・


晩御飯
カレーでいい？
うん
ジュワ…
これっぱっかで
ごめんね
ううん大丈夫

・・・・

おばさん
エリカの部屋
言ってますね
え

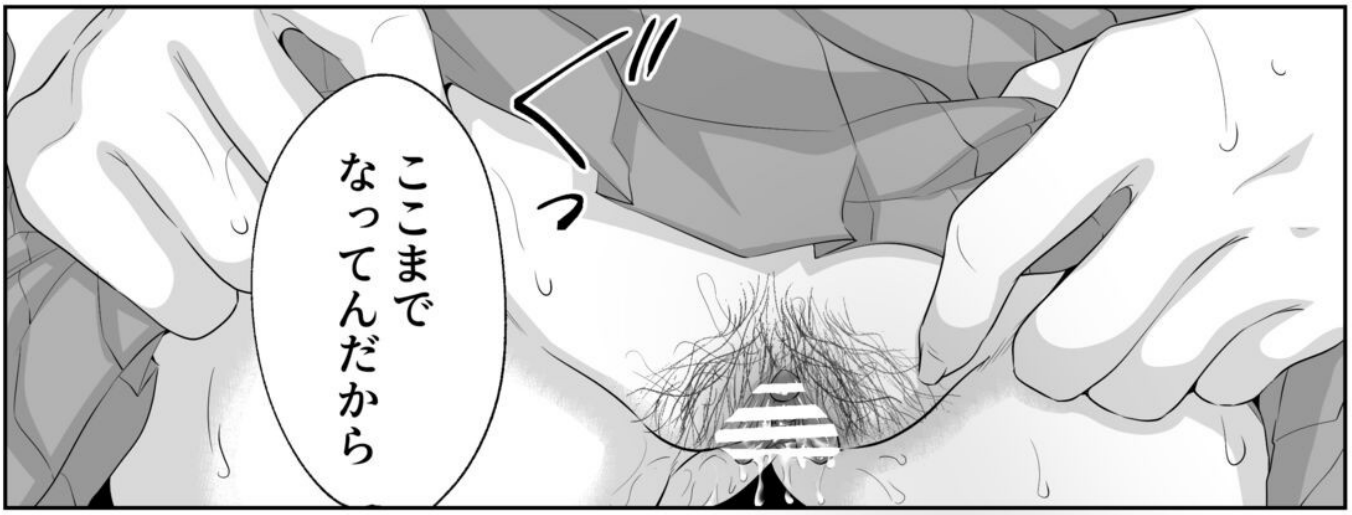
はいはいどうぞ～

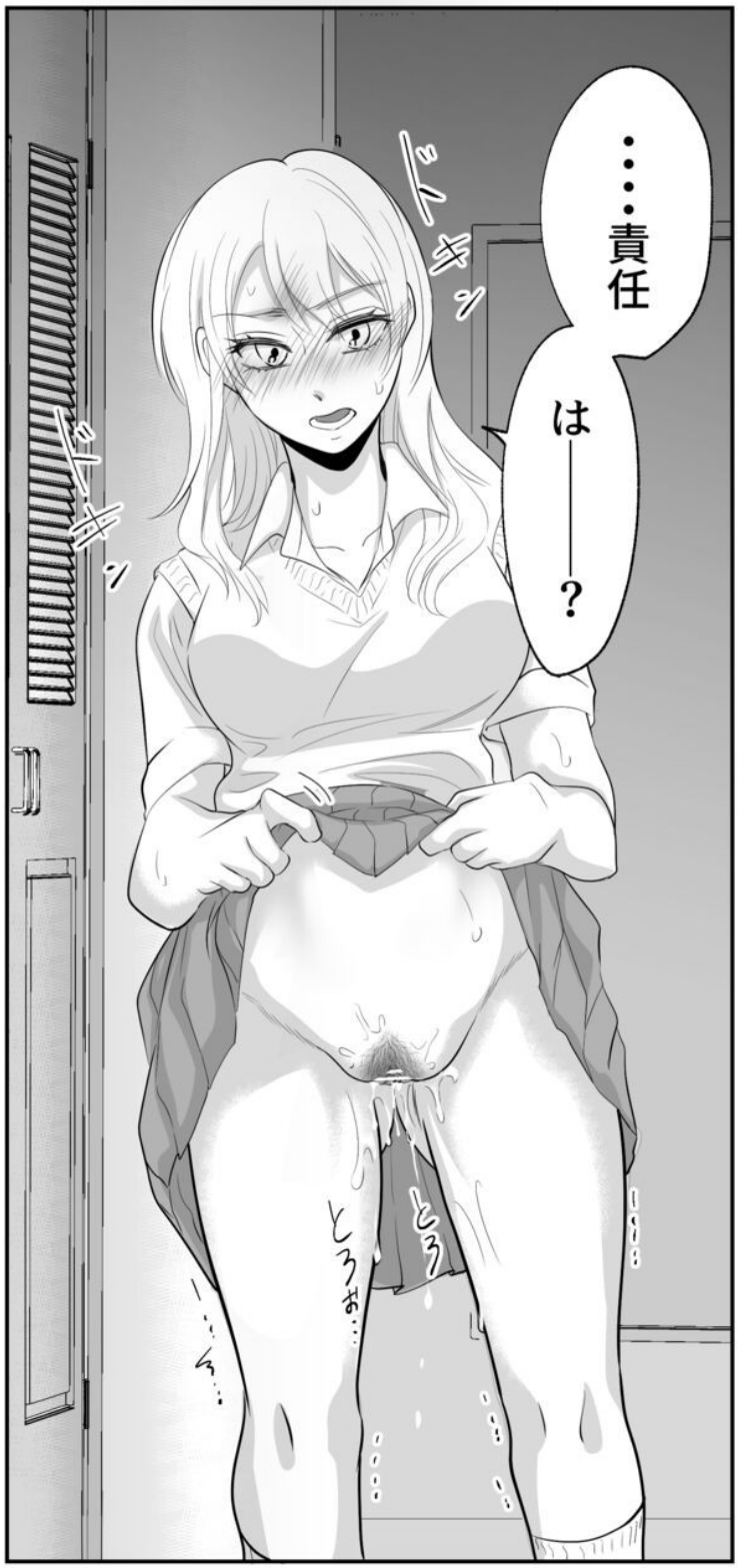
優くん
ねえ
・・・・

おい優
えっ？
早く
へ？

イラッ

少年の放課後 2

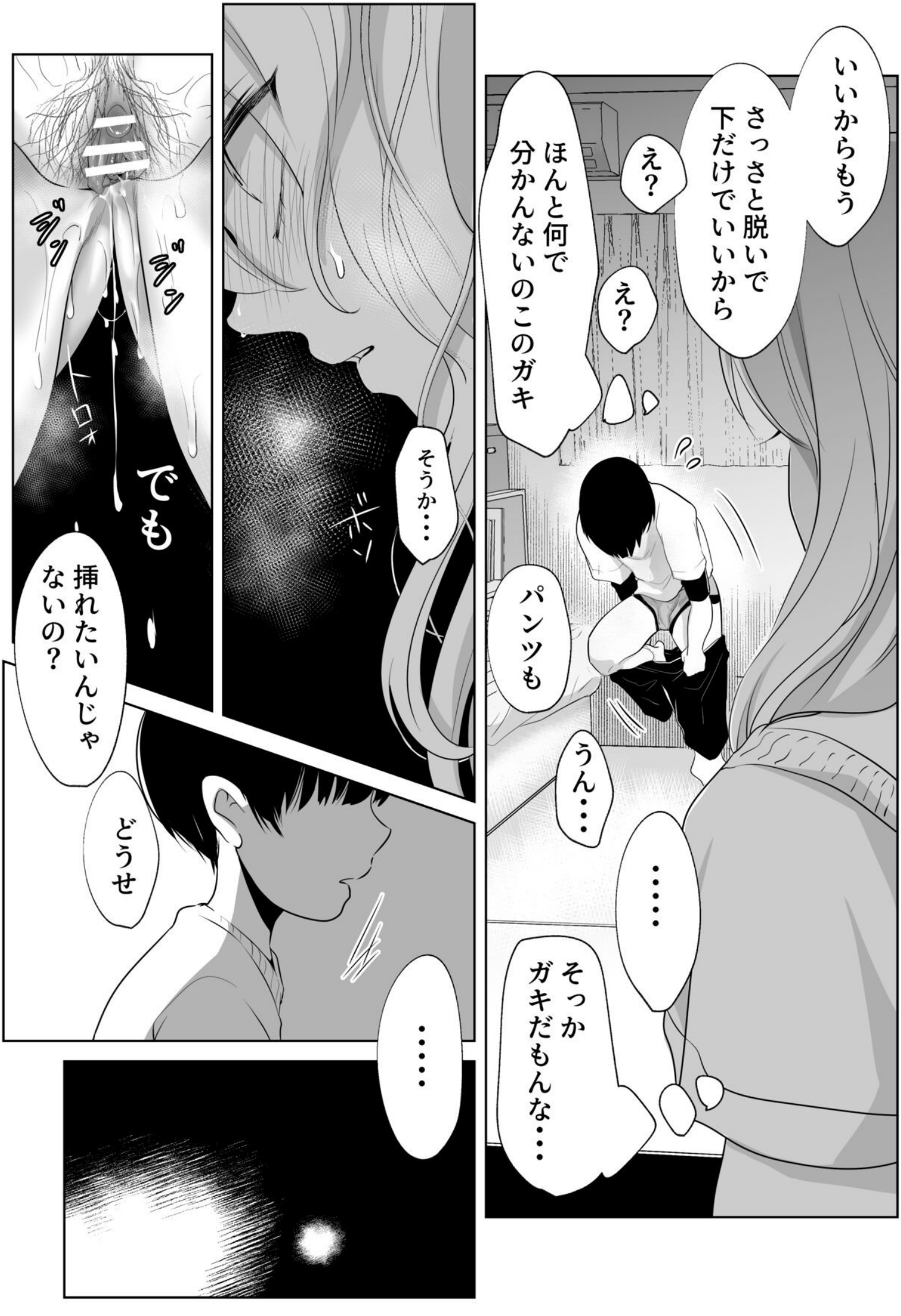

ここまで
なってんだから
くっ


……責任
は――？
ドキン
ドキン
とろ
とろお…

…えぅ

せ
セキニン？
??
じわ…
ひぐっ

アイツァ
こいつアホか
ここまで言わせて
おきながら
何で分かんないの

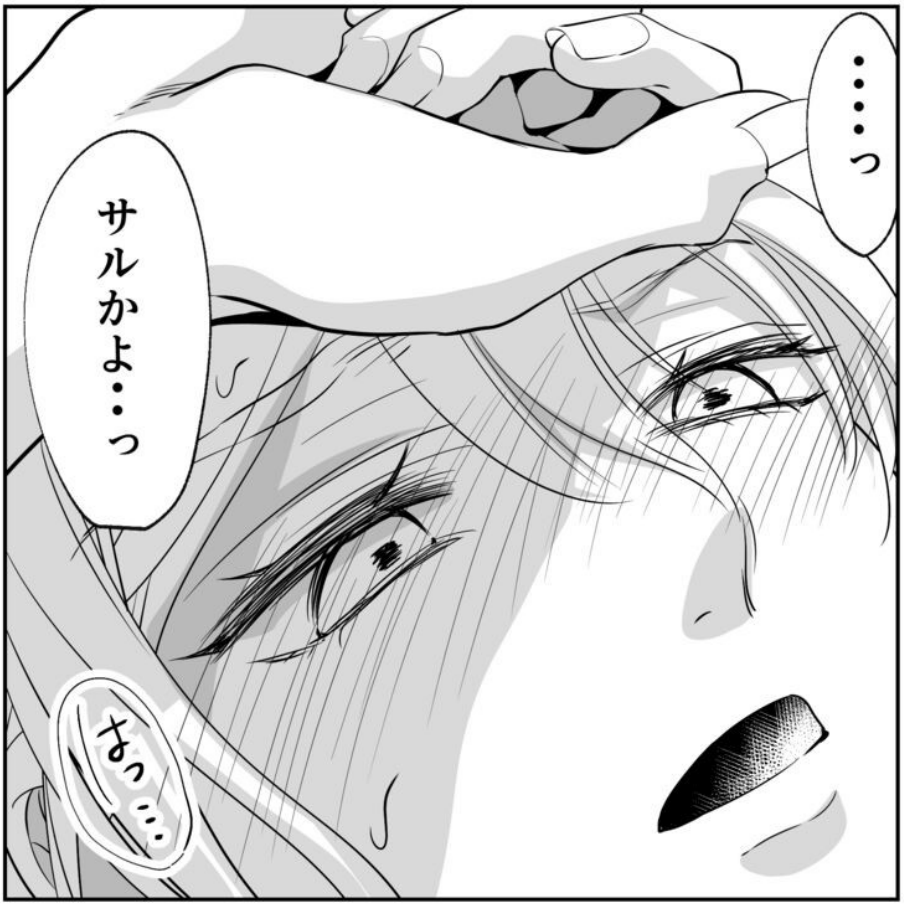

いいからもう
さっさと脱いで
下だけでいいから
え？
ほんと何で
分かんないのこのガキ
え？
パンツも
うん…
……
そっか
ガキだもんな…
……
そうか…
でも
トロォ
挿れたいんじゃ
ないの？
どうせ
……

いいの？
……

だめ
スッ
音響くから
こっち
はっ
はっ
はっ
やばい

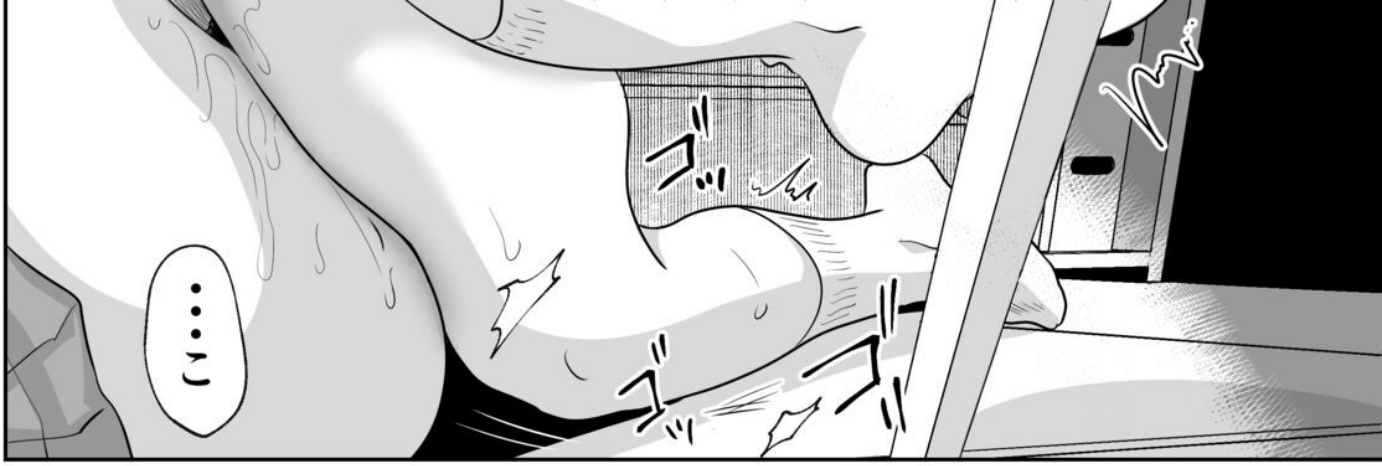
はぁっ
やばい
はっ
はっ
やばいっ・・・
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
はっ

ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ


・・・っ
サルかよ・・っ
はっ・・・

前とおなじ
うわぁ
今日もすごい
ぬるぬるで
ぬぷっ
ぬぷぷぬぷぷっ
あっ
熱くて
どろどろしてて
ぬぷっ
ぬぷぷぷっ
ちんこ擦れるたび
頭が
はぁっ
はっ
はっ
はっ
はぁっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
はっ
はぁっ
ん
んぅっ
はぁっ

優くん
汗すごい
汗
落ち着いて
はっ
はぁっ
だって
ぼく
あんたもう
息切れ
てんじゃん
はっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっぷっ
だって・・・っ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
つう
あ
・・・むり
なにっ
してるか
わかってんの
もーちょい
静かに・・・っ
んっ


ゴッ
ゴッ
ゴッ
・・・こ

はっ
はっ
腰だけ

腰だけ
動かすの

あ
ちが
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ヤ
ウ
ウ
ッ
違う
って
あう

あ

ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ

音すごい
からっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ちゃんと
聞けって・・・！

止まれ
うるせんだよ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
なあ・・・！

・・・？
カチッ
ゴンゴンッ

はっ
はふ…
……？
うっ
……あ?!
んん
グ…
グ…
……ぅんん？
ん
黙って
ふーっ
ふっ
ふーっ

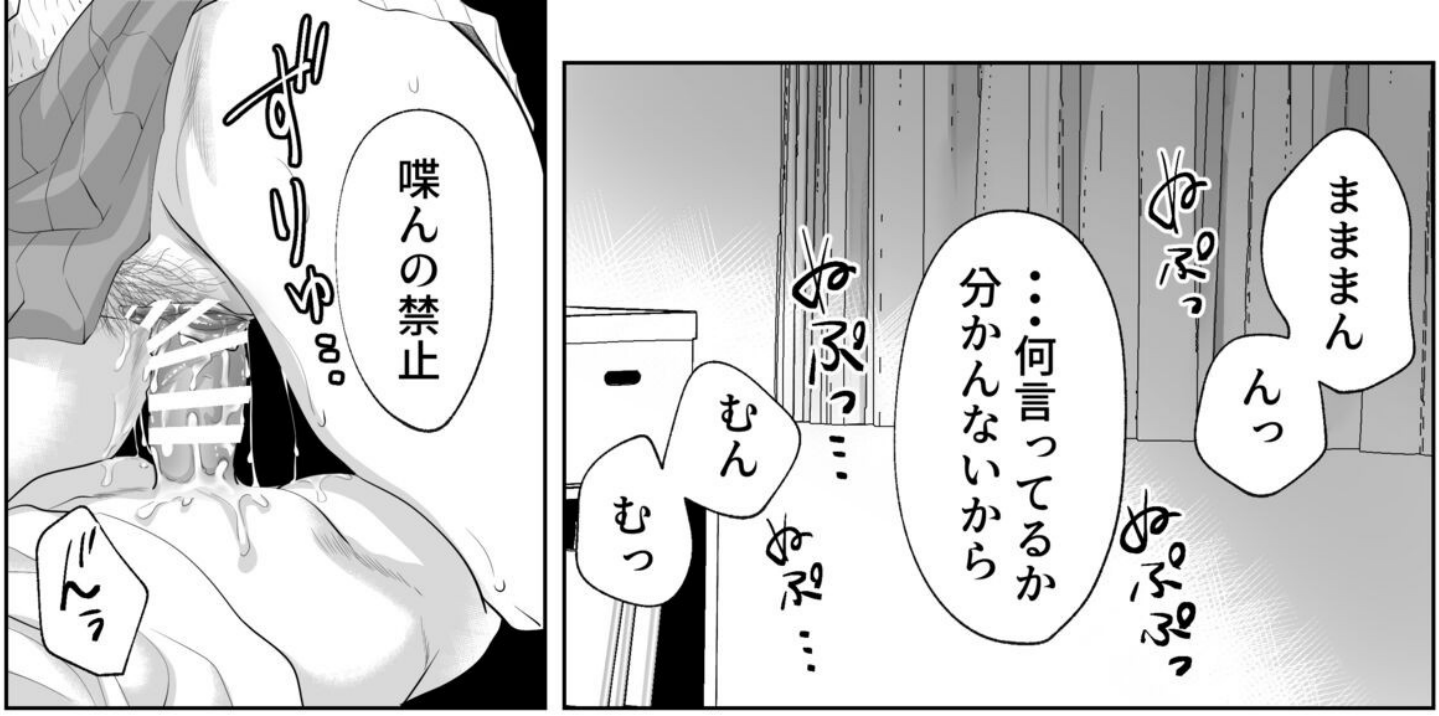
ぐぅんっ
え
これで終わり？
やだ・・・
ぐぅん
うるさい黙れ

・・・っ

ぐっ
ぷちゅ
ずずっ
ん

とろぉ
ぐぅっ

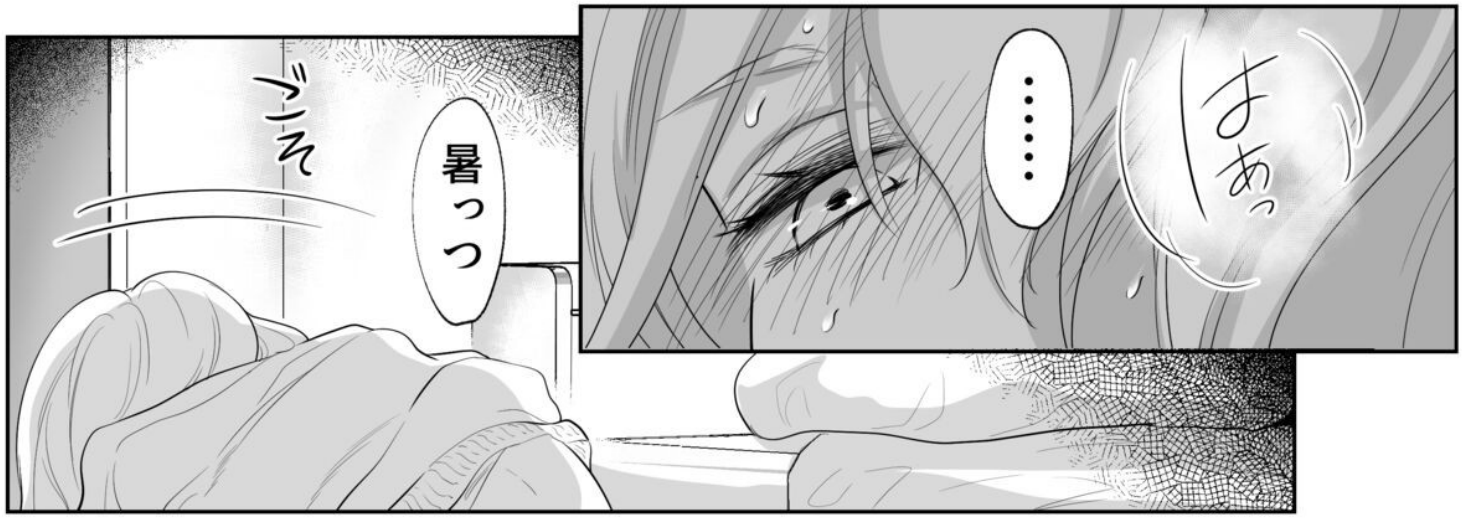
ぶるるる

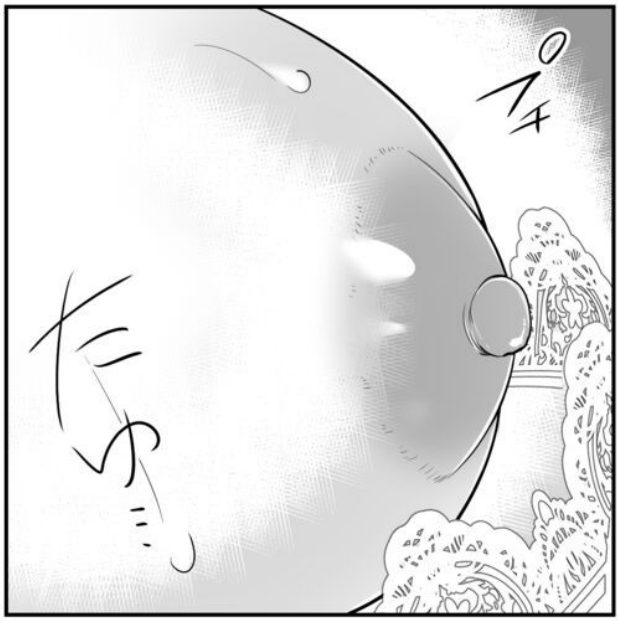

ままままん
んっ
ぬぷっ
・・・何言ってるか
分かんないから
ぬぷっ
むん
むっ
ぬぷっ
ぬぷぷっ
喋んの禁止
ずりゅ。
んっ

麻里さんが自分で
優くん
ちんちん
ちっちゃいね
はっ
あは
はっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
んっ
んっ
はっ
でもガチガチで・・・
あっ・・・
自分から僕の

優秀・・・
あっ
はあっ
・・・っ

…何
くるし？
ぷはぁっ
声だめだよ？
ぐぷっ
あ
シっ
きゅっ
むっ


はぁっ
……
暑っつ
ごそ


プチ
たゆん

え
うわ
え
にゅぐ
ぬぷっ

……
優くん
キュ

麻里さん
誰にも
死んでも言っちゃだめだよ
コソ
むにゅ

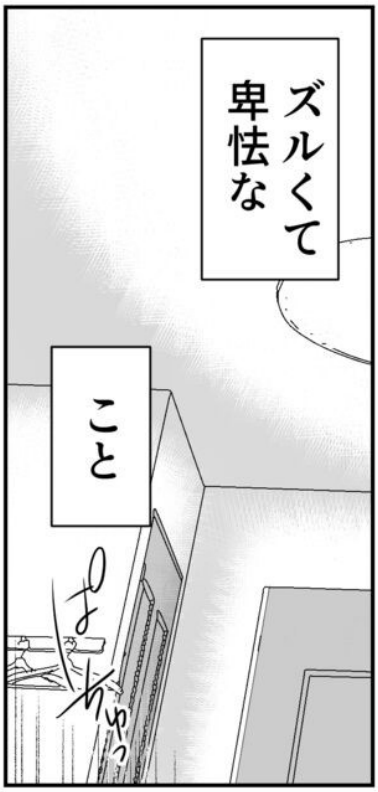
約束するなら
はっ…

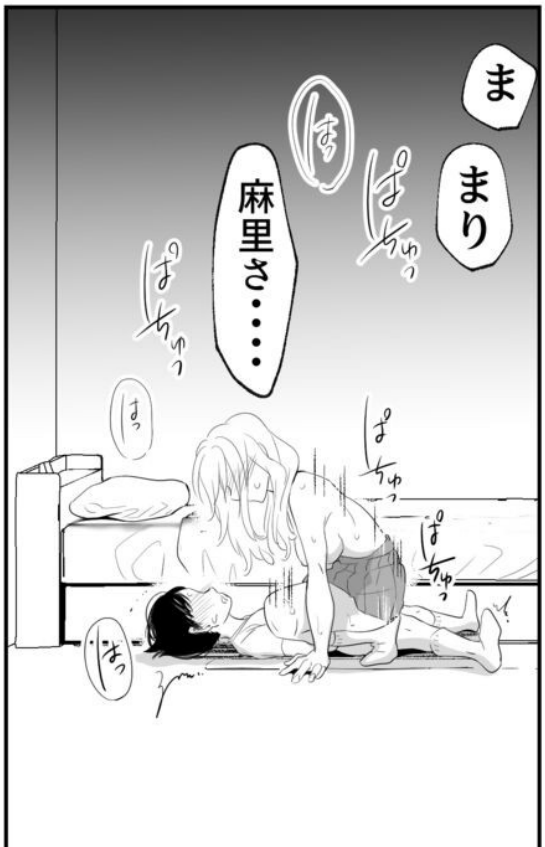
どうぞお好きに
弄っても・・・
たぷん
はっ
あッ・・・
はっ
キュッ
ビンッ
ビンッ
ハァ・・・
あーッ
あッ
ビクッ
ビクッ
ビク

友達いないって
嘘ついた

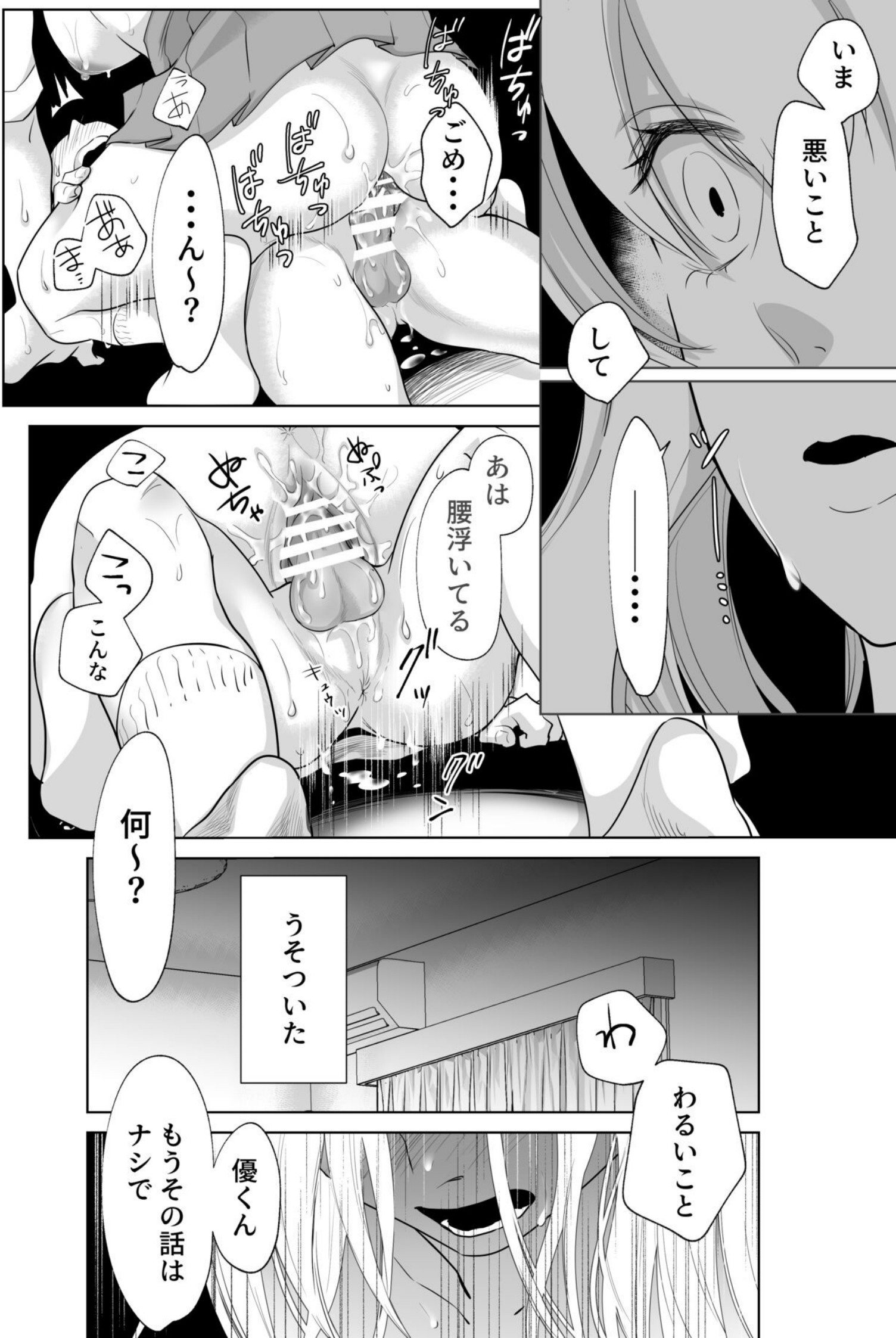
ずるいことして

それでも
引き止めたかった


ズルくて
卑怯な
こと


ま
まり
麻里さ・・・

ぼく


いま
悪いこと
して
……
あは
腰浮いてる
こんな
こっ
何～？
うそついた
わ
わるいこと
優くん
もうその話は
ナシで

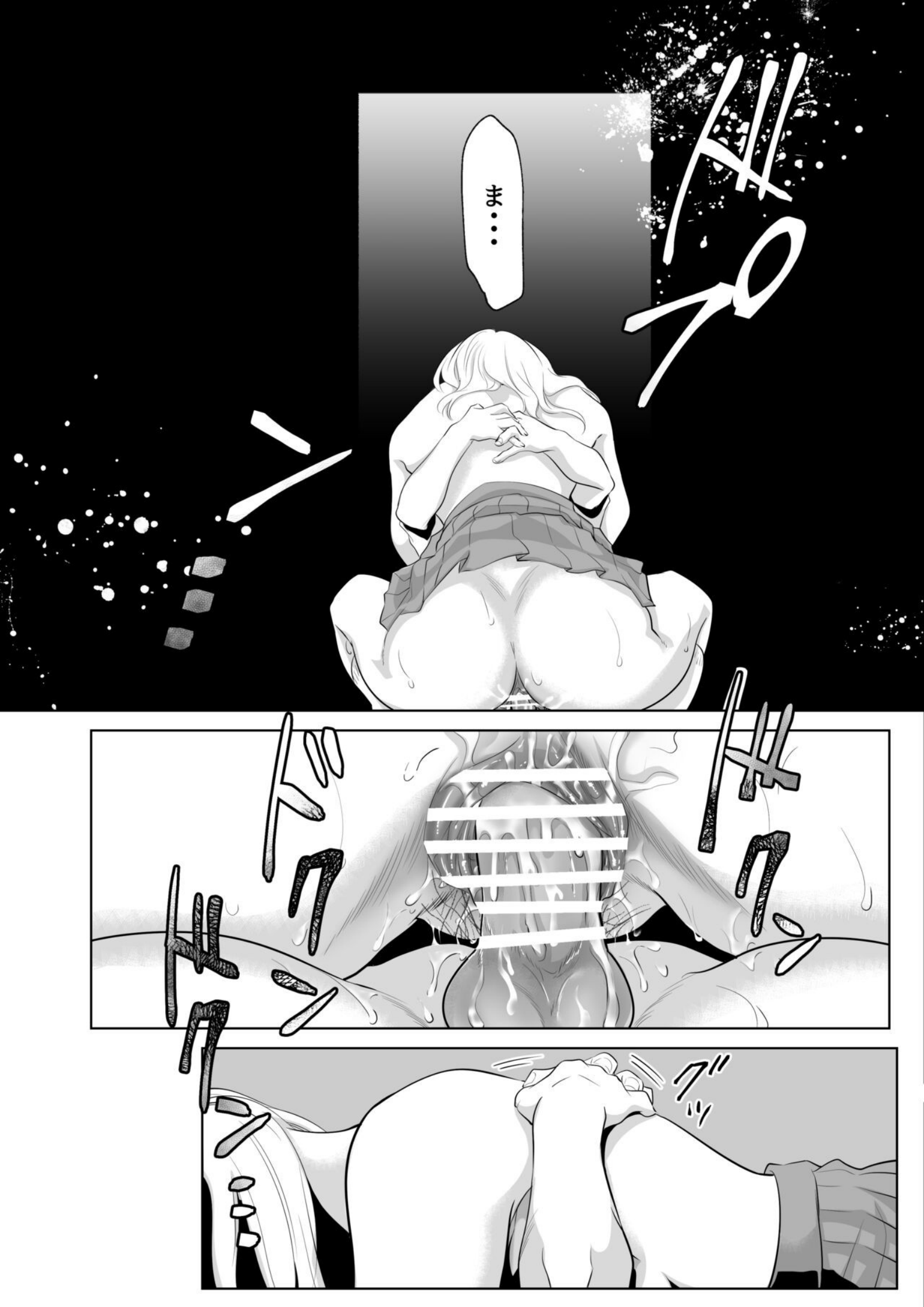
んぐっ
ちゅぷ
ちゅっ
ちゅく…
ちゅる
んっ
はぁ
……ね
はっ
……
……うん…
ちゅぷ…

バレてないけど
いや
バレたのかな
分かんない
どうでもいいや
ぬちゃ
ぬぷ
うっ
ぬぷぷ…
うっあっ
おまんこ
ぱちゅっ
まりさん…
ぱちゅっぱちゅっ
まりさんッ
僕の悪いとこ
無かったことに
してくれた
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ

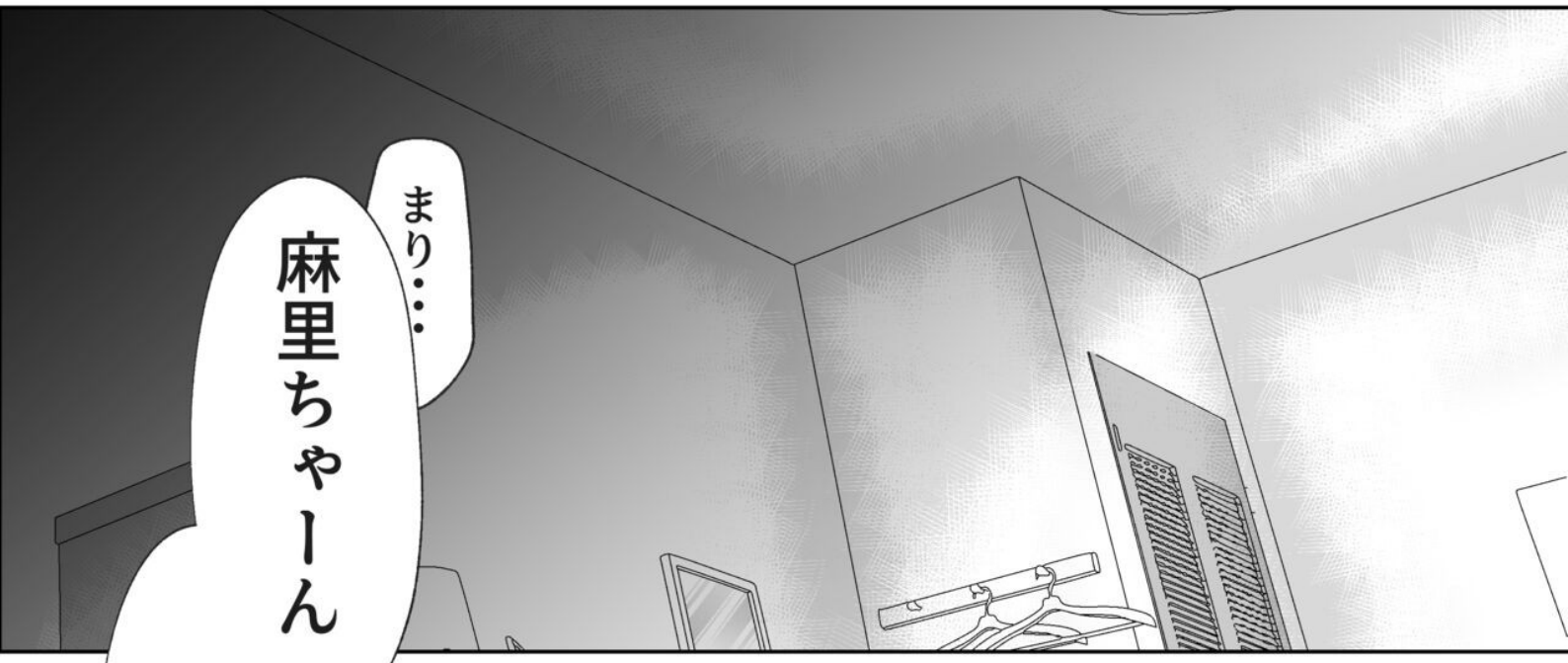
あっ
ペちゃ
あ…
れろれろ
ぴちゃっ…
…優しい
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
で…
でふ…
ちゅぅ
ぴちゃっ
ふぁっ
出る？
いーよ
ぱちゅんっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
でほう…
ちゅ
ちゅぷ
ぐぐっ

麻里さんは

まーり
やさしいなぁあ
はっ
ナあ
なの
あっ

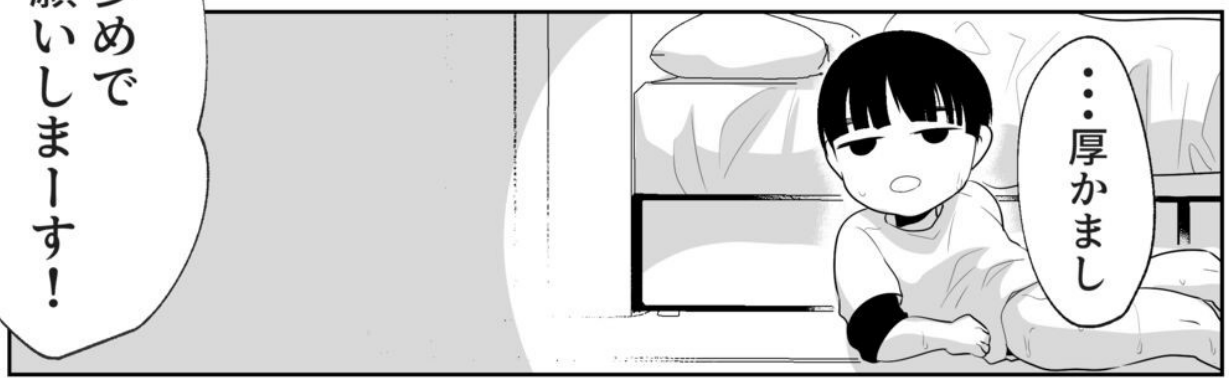

ま・・・

スル…


まり…
麻里ちゃーん
優ーっ

ドキッ

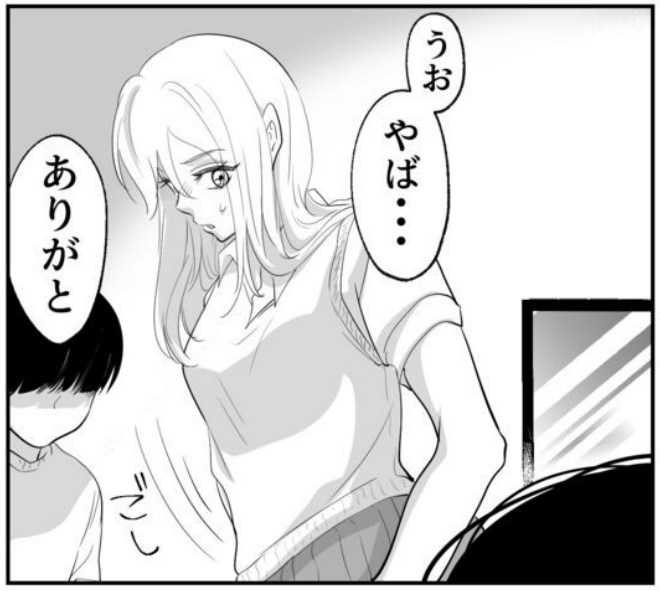
…な
なに
カレーできたけど
麻里ちゃんも
良かったら
いただきまぁあす!!
やったーっ
肉多めで
お願いしまーす!

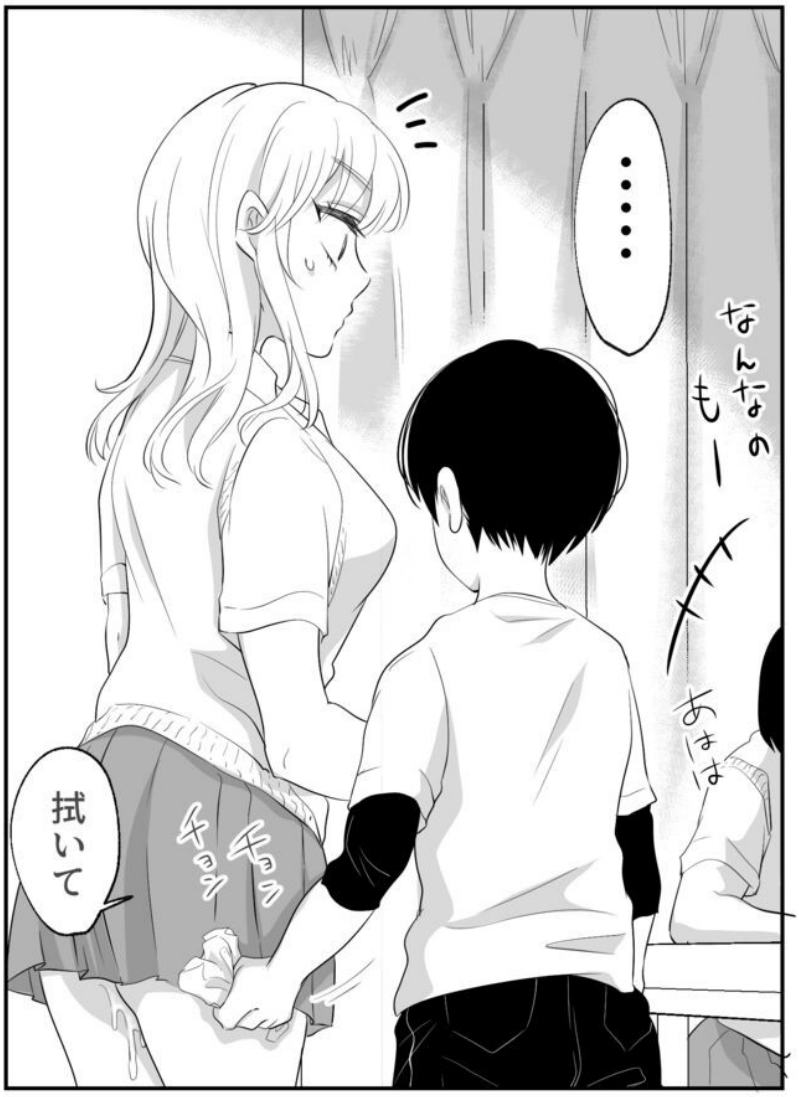

…厚かまし

カチャ
あれ
ねーちゃん?
今日客
来ないからって
帰されたー
店長さん
勝手よねぇ
よねぇ~

こっちで食べましょうか
うわ美味しそ～！おかわりっていけます？
勿論！
待って母さん私の座布団は？
あんたは我慢
えー？
・・・
あ
拭いてないから白いの出てる
僕
僕の
ぎゅ
あれ

なんか床に
白いのが落ちて・・・
NONO
またかよ！
えっなに怖い


うお
やば・・・
ありがと
ごし


・・・・
なんなのもー
あはは
チョン
チョン
拭いて

・・・

・・・ほんと二人
どんどん
なってない
どんどん仲良く
なってない
いや最後まで
言わせて〜？
どう？
美味しい？
コト

ぱくっ
うむ

ニコ
うまい！
あら嬉しい～
たくさんどうぞ～
あっ
僕の肉かえせ
はいはい
代わりににんじん
食べてあげるから
僕にんじんも
好きなんだけど
二人ともうるさーい
テレビが聞こえない！